

愛知県環境情報紙

環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/0000007029.html>

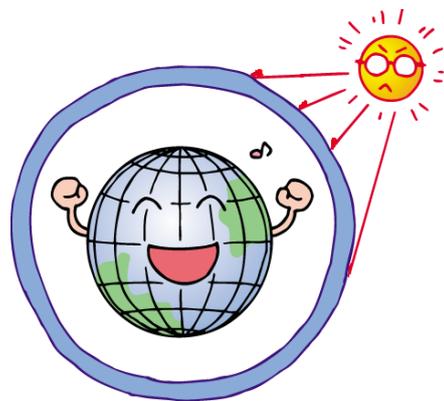
平成27年8月号 (第231号)



環境情報が満載 P2~8



夏休み環境学習講座を開催しています



9月はオゾン層保護対策推進月間です
~オゾン層保護推進大会の参加者を募集します~



生物多様性 自治体ネットワーク



あいち生物多様性フォーラムを開催します



ドローンを用いて、産業廃棄物の保管状況を確認しました



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



環境学習コーディネーターをご活用ください！

愛知県では、環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡し役を担う「環境学習コーディネーター」を平成25年度から、あいち環境学習プラザに配置し、県民、企業、NPO、行政、学校等が連携・協働した環境学習を実施できるよう推進しています。

環境学習コーディネーターは、環境学習の内容や実施方法、講師、教材、活動場所、環境学習施設など環境学習の実施についての相談を受けるとともに、必要に応じ関係者の調整を行っています。

様々な方が、各々のノウハウ等を活かしながら、学習の幅が広がり、学習効果が一層高まりますので、是非、環境学習にご活用ください。

これまでに、学校・幼稚園等の先生、企業の研修担当者やCSR担当者、NPO、子供会など、様々な立場の方々からの相談をお受けし、平成26年度は、21件のコーディネートを実施させ、すべての依頼者の方から「満足した」との声をいただきました。



コーディネートしたプログラムの様子

コーディネーター活用のメリット

- ★外部講師との調整に要する時間・手間を軽減できます！
- ★コーディネーターの持つ幅広いネットワークから学習内容に適した外部講師や活動場所を選定することができます！
- ★相談者の希望する学習内容と外部講師の持つプログラムの調整ができます！
- ★学習内容を精査することで、より継続的・発展的な学習ができます！

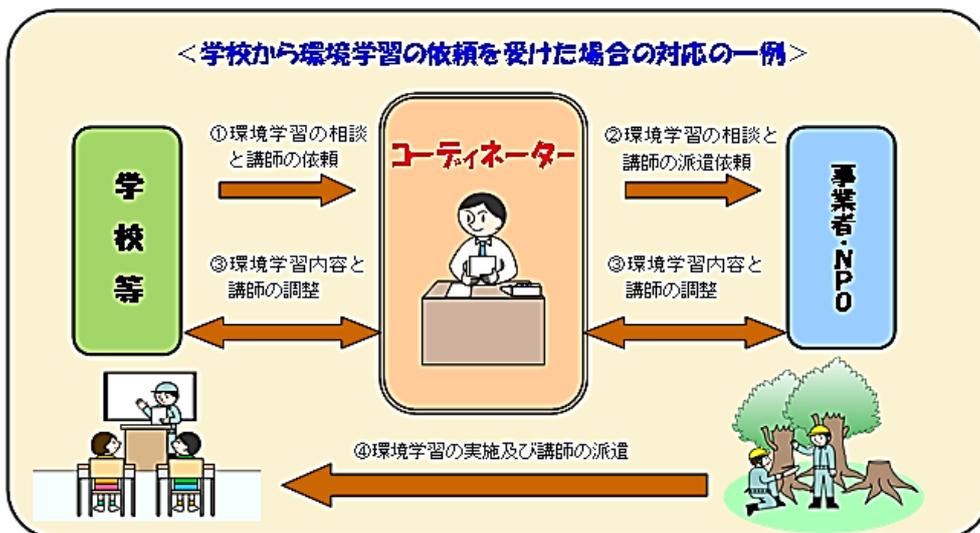
プログラム例

- ・生きものの秘密を探る *名古屋市内の幼稚園で実施予定
- ・牛乳パックでハガキづくりとリサイクルの話 *弥富市内の小学校で実施
- ・水のつながりを知る（水になって旅をする） *蟹江町内の小学校で実施
- ・身近な川とくらし（水質調査と水生生物調査） *豊田市内の小学校で実施
- ・ジビエ料理を知ろう！ *豊田市内の高校で実施
- ・ESDと私たち *名古屋市内の企業で実施

外部講師例

- ・環境NPO ・自然観察員 ・森林インストラクター
- ・気象予報士 ・自治体職員 ・ビオトープ管理士
- ・環境活動や対応を行っている企業 など

<学校から環境学習の依頼を受けた場合の対応の一例>



環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)



夏休み環境学習講座を開催しています

愛知県では、小学生以上を対象に、生きものに実際に触ったり、実験をしたりして、体験しながら環境について楽しく知ることができる「夏休み環境学習講座」を開催しています。

参加費は無料で、先着順で予約を受け付けています。すでに定員に達した講座もありますが、受け付け中の講座もありますので、お気軽にお問い合わせください。

< 日 程 >

右表のとおり

いずれも午前(10:30~12:30)、午後(14:00~16:00)の2回開催。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000083399.html>)



↑ 森あそび名人になろう
(過去の講座の様子)

↓ チョウの標本をつくろう
(過去の講座の様子)



(1) もりの学舎(愛・地球博記念公園内)で開催

日時	講座名(講師)
8月11日 (火)	りきさんの「森あそび名人になろう！」 (講師: 勢力 愛子)
8月14日 (金)	チョウの標本をつくろう (講師: 高橋 匡司)
8月16日 (日)	ベルさんの動物ヒミツシリーズ① 〜おどろきのクモの世界!?〜 (講師: 祖父江 鈴子)
8月25日 (火)	トンボの標本をつくろう (講師: 高橋 匡司)

(2) あいち環境学習プラザ(愛知県東大手庁舎内)で開催

日時	講座名(講師)
8月13日 (木)	いきもの博士になろうシリーズ④ 〜エビ・カニ編〜 (講師: 宮田 賢輔)
8月19日 (水)	ベルさんの動物ヒミツシリーズ② 〜おどろきのミミズの世界!?〜 (講師: 祖父江 鈴子)
8月24日 (月)	いきもの博士になろうシリーズ⑤ 〜爬虫類・両生類編〜 (講師: 宮田 賢輔)

※ 講師は、もりの学舎インタープリターです。
講座は、天候などにより内容変更や中止になることがあります。

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

連載④ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

「エコリンクあいち」は、皆さんが地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に楽しく取り組み、その活動を広げるためのサイトです。

○ 「あいちエコアクション広報部」OS☆Uの限定ドニチエコきっぷ争奪! エコポイントダービー
このたび、OS☆Uをデザインした「エコリンクあいち」限定のドニチエコきっぷがもらえるエコポイントダービーを8月1日(土)から来年3月31日(木)まで開催します。毎月、エコポイント獲得数が多い上位3名の方にドニチエコきっぷをプレゼントします。

エコポイントは、サイト内で日記やイベントを投稿したり、投稿した日記に他のユーザーから「エコいいね!」をもらうことで集まります。詳細はWebサイトをご確認ください。



限定ドニチエコきっぷ

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

まなびや もりの学舎のイベント情報等をお知らせします！

1 来館者が40万人に達しました！

7月12日(日)に、「もりの学舎」の来館者数が平成19年3月25日の開館以来、40万人に達しました！

来館40万人目の方は、高木杏紗さん(名古屋市名東区)と松原実来さん(名古屋市瑞穂区)の小学生のお二人です。ご家族が出場する野球の応援に来た際に「もりの学舎」にも立ち寄ってくれました。

「たまたま立ち寄ったら40万人目だったので、とても驚きました。」とおっしゃっていました。

当日開催した「来館者40万人達成記念セレモニー」で、環境活動推進課長からお二人に記念品(モリゾー・キッコロの風鈴)を贈呈し、お二人とモリゾー・キッコロで記念撮影を行いました。



記念品の贈呈



モリゾー・キッコロと
記念撮影

2 「もりの学舎☆ふれあいテラス」オープニングイベントを実施します！

「もりの学舎」にウッドデッキ「もりの学舎☆ふれあいテラス」が9月6日(日)にオープンします。

当日は幼児とその保護者を対象としたオープニングイベントを開催します。参加費は無料で、参加者には記念品をお配りします。皆様のご参加をお待ちしておりますので、是非お申し込みください。

(1) 開催日時 9月6日(日) 10:30~11:30

(2) 開催場所 もりの学舎

(3) 内容

愛知教育大学学生によるコンサート、自然遊びを行う「ひろばdeしぜんあそび」など

(4) 対象及び募集人数

幼児(3歳から6歳まで)とその保護者
20組(先着順)

(5) 記念品

モリゾー・キッコロの木製キーホルダー

(6) 申込・問合せ先

もりの学舎

電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.lg.jp/0000085021.html>)



3 8月に実施するプログラムのご案内

8月は以下のプログラムを実施していますので、是非ご参加ください。なお、受付は開始時間の30分前からで、当日の先着順で参加者を決定します。

また、8月は毎日開館しています。

(1) もりのツアー(かめの池コース)

インタープリターと「かめの池散策路」を歩くツアー

・開催日 8月の土曜日及び日曜日

・時間 11:00~11:50 ・定員 10名

(2) もりのツアー(森コース)

インタープリターと森を歩くツアー

・開催日 8月の土曜日及び日曜日

・時間 14:00~14:50 ・定員 20名

(3) あそび工房(工作教室)

身近な自然素材等を使った工作教室

・開催日

8月13日(木)~16日(日)、22日(土)、23日(日)、
29日(土)及び30日(日)

・時間

1回目 11:30~12:00 2回目 14:30~15:00

・定員 各回20名

4 その他

「もりの学舎」で行うイベントやプログラムは、
AELネット環境学習スタンプラリーの対象です。
スタンプラリーの詳細はWebページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/acl_stamprally/)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

9月はオゾン層保護対策推進月間です ～オゾン層保護推進大会の参加者を募集します～

9月は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書が1987年9月に採択されたことにちなんで環境省が定めた「オゾン層保護対策推進月間」です。

オゾン層とは

地表から10～50km上空の成層圏にある、オゾンが多く存在する大気のことをいいます。オゾン層は太陽から降り注ぐ光のうち、生物にとって有害な紫外線の大部分を吸収し、地上を生物が住むことができる環境にしている重要なものです。

このオゾン層が破壊されると、紫外線により人間では皮膚ガンや白内障が増加するなど、生物にとって重大な影響があるとされています。



フロンとは

オゾン層を破壊する物質としては、フロンという化学物質があります。フロンは主に冷蔵庫やエアコンの冷媒として使用されてきました。

さらに、このフロンや、フロンの代わりに使用されている代替フロンの中には二酸化炭素の数百から数万倍の温室効果があるものもあり、地球温暖化防止の観点からも適切に処理することが求められています。このため、冷蔵庫やエアコンを廃棄する時には、適正にフロンが処理されるよう、販売店や、フロン類充填回収業者を通して廃棄してください。



冷凍空調機器の管理者の責務

最近の調査では使用中の冷蔵庫、エアコンからもフロン類が漏えいするおそれがあることが判明しています。このため、今年4月に施行された、フロン排出抑制法では全ての業務用の冷凍空調機器について3ヶ月に一度、簡易点検を行うことが義務づけられました。さらに、定格出力が7.5kW以上の機器については、専門業者による定期点検も義務づけられています。

家庭用の冷蔵庫、エアコン等については、法律で点検が義務づけられているわけではありませんが、使用中の冷蔵庫やエアコンから異音がする、霜がついている、冷えなくなったなど、普段と異なる症状がみられる場合には、フロン類が漏えいしているおそれがありますので、早めに専門業者の方に点検、修理を依頼してください。

愛知県の取組

愛知県ではオゾン層保護対策推進月間の9月の取組として、金山駅での街頭キャンペーンや大型ビジョンでの広報等を行い、フロン類の回収・適正処理を啓発するとともに、オゾン層保護推進大会を開催します。

県民の皆さんの参加をお待ちしています。

- 1 開催日時 9月10日(木) 14:00～16:30
- 2 開催場所 愛知芸術文化センター 12階
アートスペースA
名古屋市東区東桜一丁目13-2

3 内容

- (1) 愛知県におけるフロン類の回収・適正処理の取組について
- (2) フロン排出抑制法の施行について
- (3) 講演

「南極観測隊から見た地球環境(仮題)」

講師: 名古屋市科学館 学芸課学芸係

学芸員 おじお てつろう 小塩 哲朗さん

- 4 定員 180名(申込先着順)

5 申込方法

- ① 題名「オゾン層保護推進大会申込み」
- ② 会社名(団体名)・氏名
- ③ 連絡先(電話番号、FAX番号)

を記載の上、9月4日(金)までに、大気環境課あて
Eメール: taiki@pref.aichi.lg.jp
又は FAX: 052-953-5716
でお申し込みください。

6 参加費 無料

〔大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)〕

あいち生物多様性フォーラムを開催します

2010年に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)で採択された生物多様性に関する世界目標である「愛知目標」を達成するためには、県民の皆さんが生物多様性保全に対する理解を深め、具体的な取組を進めていくことが重要です。

このため、愛知県では、知事が代表を務めている全国組織である「生物多様性自治体ネットワーク」と共催で、「あいち生物多様性フォーラム」を開催しますので、皆さん是非ご参加ください。

- 1 開催日時 9月4日(金) 14:00～16:30
- 2 開催場所 愛知芸術文化センター 12階
アートスペースA
名古屋市東区東桜一丁目 13-2

3 内容

- 基調講演「生物多様性を守るとは何か?」
～現状把握と将来に向けて～
国立環境研究所 主席研究員 五箇 公一さん
- 事例発表及びポスター展示

愛知県内各地域の生態系ネットワーク協議会による取組や活動紹介

- 4 参加申込方法 (入場無料・先着順・定員150名)
申込に当たっては、次のWebページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入してFAX、Eメールもしくは郵便はがきで申込みをしてください。
(<http://www.pref.aichi.jp/0000085053.html>)

5 問合せ・申込先

あいち生物多様性フォーラム事務局

電話：052-952-7381(平日10～18時)

FAX：052-952-7370

Eメール：aichi-bio@nhk-pn.jp

住所：〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3

NHK名古屋放送センタービル10階

「あいち生物多様性フォーラム事務局
(NHKプラネット中部内)」宛

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

循環ビジネスの先導的な取組を紹介する 現地見学会を実施しました

資源循環ビジネスの発掘・創出を目的として、愛知県と環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) は、協働して、7月22日(水)に循環ビジネスの先導的な取組を紹介する現地見学会を開催し、43名の参加がありました。

見学会では、「省エネルギー(低炭素)社会の実現に向けた青色LEDの事業化」で「2015愛知環境賞」特別賞を受賞した豊田合成(株)、「NAS電池電力貯蔵システム」で「2015愛知環境賞」金賞を受賞した日本ガイシ(株)及び「資源化センターシステム」で「2007愛知環境賞」銀賞を受賞した(株)三進製作所の3社から、独自の技術に関する説明を聞くなど、施設見学を行いました。

参加者は、各見学会場で熱心にメモを取り、質問するなど、関心の高さがうかがえました。



豊田合成(株)



日本ガイシ(株)



(株)三進製作所

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)〕

産業廃棄物処理業者及び排出事業者への 一斉立入指導やパトロールを実施しました

愛知県では産業廃棄物の適正な処理を推進するため、毎年6月と11月を「産業廃棄物の適正処理に係る指導強化月間」とし、市町村や県内の関係団体と協力して、産業廃棄物処理業者及び排出事業者（以下「事業者等」という。）への一斉立入指導やパトロールを実施しています。6月に実施した状況は次のとおりです。

1 事業者等への立入検査及びパトロール

事業者等の保管場所等を重点的に立入検査し、廃棄物の過剰保管の改善、産業廃棄物の保管場所の囲いの設置、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の適正な管理等を文書等により指導しました。また、不法投棄や野焼きなどの不適正な処理の防止を図るため、パトロールを実施しました。

これらの指導状況の概要は、表1及び表2のとおりです。

表1 立入件数と指導件数

	立入件数	指導件数				計	
		行政処分	行政指導				
		改善命令	改善勧告	指示書	指導票		
排出事業者	47(48)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	
産業廃棄物処理業者	収集運搬業者	87(74)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	中間処理業者	148(139)	0(0)	1(1)	1(1)	2(6)	4(8)
	最終処分業者	11(31)	0(0)	0(1)	1(0)	0(2)	1(3)
保管場所・不法投棄・野焼きパトロール等	305(327)	0(0)	1(0)	7(3)	12(17)	20(20)	
合計	598(619)	0(0)	2(2)	9(4)	14(26)	25(32)	

(注1) 立入件数、指導件数の()は前年度6月の実績。
 (注2) 「改善命令」は廃棄物の処理及び清掃に関する法律による行政処分、「改善勧告、指示書、指導票」は行政指導。

表2 文書指導等の状況一覧

指導区分	件数	指導内容	内訳件数
改善勧告	2	・産業廃棄物の保管場所(囲い、掲示板の設置)の改善	1
		・報告徴収に対する未報告分の督促	1
指示書	9	・産業廃棄物の過剰保管の改善	2
		・投棄した廃棄物の撤去指導	2
		・産業廃棄物の保管場所(囲い、掲示板の設置)の改善	1
		・産業廃棄物混じりの残土による埋立ての中止	1
		・粉じん等の飛散防止の指導	1
		・不適合炉による焼却の中止	1
		・自主検査の分析項目の追加	1
		・産業廃棄物の過剰保管の改善	5
指導票	14	・産業廃棄物の保管場所(囲い、掲示板の設置)の改善	2
		・計画書どおりの廃棄物の撤去指導	2
		・野焼き禁止の指導	2
		・産業廃棄物の保管場所(積上げ勾配)の改善	1
		・焼却施設における維持管理の徹底	1
		・引取業、解体業の標識掲示を指導	1
			1

2 小型無人飛行機（ドローン）を用いた産業廃棄物の保管状況の確認

6月30日に、産業廃棄物が過剰保管されており、地上からの状況把握が困難な現場において、小型無人飛行機（ドローン）を用いた保管状況の確認を、本県として初めて行いました。

上空からの撮影により、効率的に全体像を把握することができ、不適正処理の改善につながると考えたものです。



ドローンを用いた調査の実施状況



立入検査の状況

こうした様々な監視活動により、不法投棄を含めた産業廃棄物の不適正な処理を抑止していきます。

資源循環推進課
 廃棄物監視指導室監視グループ
 電話 052-954-6238 (ダイヤルイン)



連載 「三河湾環境再生プロジェクト(2)」

～ 三河湾の現状と取組について ～

今回は、三河湾のこれまでの取組などとともに、三河湾環境再生プロジェクトを開始した背景をご紹介します。

1 三河湾の状況

三河湾は、古くから漁業や海運はもとより、潮干狩りや海水浴、近年に至っては海洋スポーツやレクリエーションと、私たちが多くの恵みを受けてきた里海であり、次世代に残さなければならない本県の財産です。

しかしながら、戦後の経済発展や都市化の進展に伴い、干潟、浅場、藻場の多くが失われ、陸域からの流入負荷の増大も相まって、水質の悪化、赤潮や苦潮の発生など、環境が悪化しました。

2 これまでの取組

こうしたことから、愛知県では、陸における取組として、工場・事業場に対する総量規制による汚濁負荷の削減や、下水道の整備や浄化槽の設置促進による生活排水対策の推進などの施策を行っています。

また、海における取組として、水質浄化機能を有し、生物の生育・生息環境となる干潟・浅場の保全・造成や、浚渫・覆砂、深堀跡の埋め戻しなどの施策を行っています。



3 三河湾の現在の水質等

水質について、有機汚濁の代表的な指標であるCOD や富栄養化の代表的な指標である全窒素、全磷の環境基準の達成率は、近年ではいずれの項目も概ね横ばいで推移しています。

赤潮について、近年、赤潮の発生延べ日数は減少傾向にあるものの、赤潮の発生件数は概ね横ばいです。また、苦潮も同様の傾向です。

4 三河湾環境再生プロジェクトの開始

三河湾の環境再生をさらに推進するためには、これまでの取組に加え、県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政などが一体となって、取り組んでいくことが重要です。

このため、平成 24 年度から、「三河湾環境再生プロジェクトーよみがえれ！生きものの里“三河湾”」と銘打って、三河湾環境再生シンポジウム及び干潟観察会の開催、NPO 等の活動支援などの取組を開始し、現在も継続しています。

きれいで、豊かな、
親しみやすい三河湾
を目指します！



〔 水地盤環境課 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成 27 年 8 月 10 日発行(第 231 号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市中区北区辻町字流 7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

今年も暑さの厳しい季節がやってきました。年を追うごとに夏が暑くなっていると感じますが、熱中症にならないよう体調には充分に気をつけて過ごして下さい。

クールビズを始め、クールシェアといった環境配慮行動をうまく生活に取り入れて、夏の厳しい暑さにも負けずに過ごしていきたいですね。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ掲載していただきますようお願いします。